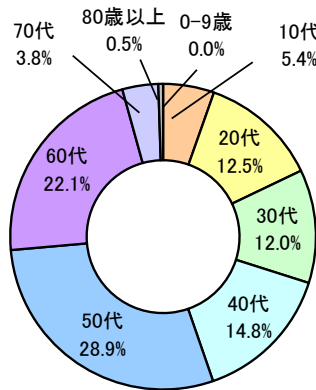


特別展「江戸☆大奥」

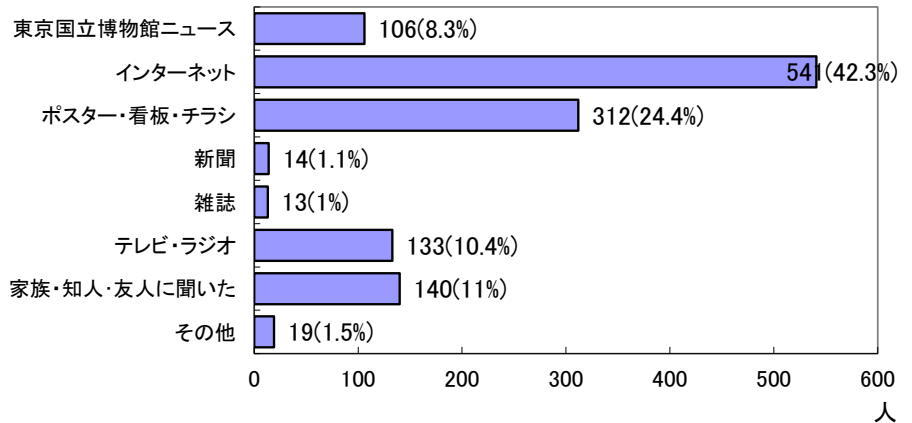
アンケート集計結果

令和7年7月19日（土）～9月21日（日）（58日間）
総入館者数：210,374人
回答者数：1,072人

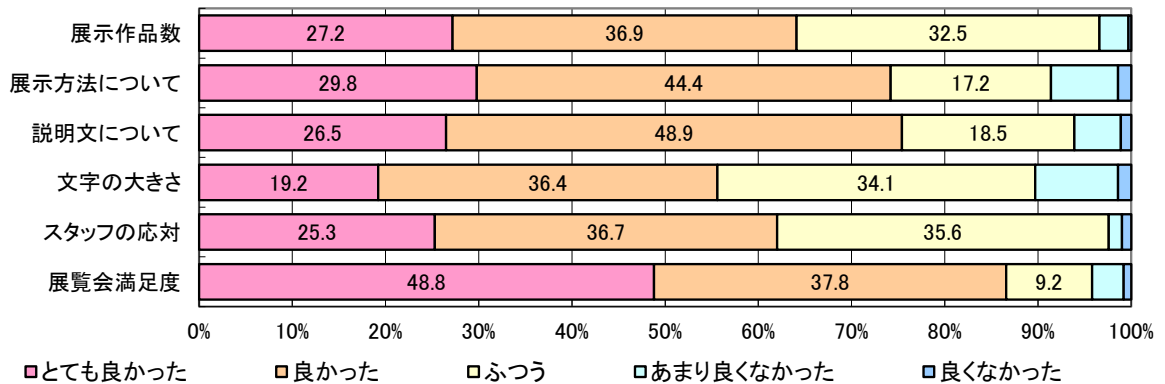
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・公開機会の少ない貴重な資料が多くよかった
- ・意外と身近でない大奥に触れる事ができてよかった
- ・順路がもっとわかりやすいとよい
- ・時間がかかっても列を形成した方が見やすい展示があった
- ・専門用語の解説やルビを振ってほしい
- ・作品保護のためとはいえ、空調が寒い

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品数	3.1	0.3
展示方法	7.2	1.4
説明文	5.0	1.1
文字サイズ	8.9	1.4
スタッフの対応	1.4	1.0
展覧会の満足度	3.4	0.8

(%)

本展は、大奥に生きた女性たちのゆかりの品々や関連する歴史資料によって、大奥のリアルに迫ろうとするものです。猛暑日が続く中でも、会期を通して20万人以上の方々にご来場いただきました。改めまして感謝申し上げます。

第一会場では導入としてドラマ「大奥」で使用された実際の衣装を展示しており、江戸時代のセットとあわせて記念撮影をされる方もみられました。

現代フィクションでの大奥を扱った後は『千代田の大奥』をはじめとした貴重な資料や、第二会場では実際に着用されてきた染織品、天璋院篤姫所用の品々などを展示することで、伝聞や想像の中の「大奥」の実際の姿に迫っていく流れとなっていました。また本展においては（公財）徳川記念財団には、普段は非公開となっている多数の資料を出品いただきました。

和服での来館キャンペーンやVR大奥等、展示をより楽しむ企画も催され、多くの来場者を迎える中で、「時間がかかってもいいので順路がほしい」「専門用語にルビがほしい」「空調が寒い」など、混雑対策と人の滞留しがちな解説の分量バランスなど、今後の特別展の設計面へ参考となるお声も多数いただきました。

今回のアンケート結果も参考に、引き続きよりよい展示および観覧環境の提供に努めてまいります。